

会 議 録

会 議 名	平成 25 年度第 1 回東浦町ごみの分別と減量をすすめる会	
開 催 日 時	平成 25 年 8 月 8 日（木）午前 10 時から午前 11 時 45 分まで	
開 催 場 所	東浦町勤労福祉会館 2 階会議室D	
出 席 者	推進員	水野 幸三郎（森岡連絡所長） 西保 千佳（森岡地区住民代表） 谷口 勝（森岡台自治会長） 久米 弘（緒川連絡所長） 戸田 宏和（緒川新田連絡所長） 谷本 實（緒川新田地区住民代表） 間瀬 宗則（東ヶ丘自治会長） 向山 恭憲（東ヶ丘自治会住民代表） 平林 満江（石浜地区住民代表） 前田 明弘（石浜中自治会長） 小川 博美（石浜中自治会住民代表） 山田 隆（石浜西連絡所長） 春口 郁子（石浜西地区住民代表） 久米 清之（藤江連絡所長） 小田 稔（藤江地区住民代表）
	事務局	東浦町長 原田 定郎（生活経済部長） 石川 進（環境課長） 長坂 実（環境課環境衛生係長） 小田 浩昭（環境衛生係主査） 奥野 千佳子（環境衛生係主事）
欠 席 者	細江 明美（森岡台自治会住民代表） 野村 裕子（緒川地区住民代表） 平林 毅（石浜連絡所長） 長坂 吉春（生路連絡所長） 原田 悦子（生路地区住民代表）	
議 題	1 平成 24 年度ごみ処理量とごみ処理費について 2 段ボールコンポストモニター結果及び剪定枝粉碎機無料貸出について 3 指定ごみ袋の他市町での販売について 4 パソコンの回収について	
傍聴者の数	3 人	

議 事 内 容	環境課長：あいさつ 会議の公開を確認、会議中の録音・写真撮影の了承、資料確認 町 長：あいさつ 環境課で小さなことではあるが、いろいろと新しいアイデアを考え少しずつ実行に移している状況である。前回の会議で紹介した段ボールコンポストや現在、開始しだした剪定枝粉碎機の無料貸出についても、希望者が多数いると聞いている。 また、イベント時のごみを減らそうという話も出ており、町としては、産業まつりにおいて少しでも減らす工夫、マイ箸・マイバックから始めていきます。それぞれの地域においても工夫してごみを減らしていく試みをおこなっていただけるとありがたいです。段ボールコンポストについては、生ごみを細かく切ることがコツだと思う。いろいろな意見をいただきたいと思います。 環境課長：平成 25 年 2 月 7 日に本会議を開催し座長を選出しているため、前回に引き続き久米清之氏が座長とする。 座 長：あいさつ 議事進行 <u>議題 1 「平成 24 年度ごみ処理量とごみ処理費について」</u> 事 務 局：平成 24 年度のごみ処理量とごみ処理費の公表について並びに可燃・不燃・資源ごみの地区別収集量について説明。 （主な質疑・意見等） 推 進 員：ごみの量は他市町と比較してどうなのか。 環境課長：東部知多構成市町で言いますと、前年対比の総搬入量としては、大府市が 0.23%減、豊明市が 0.85%増、東浦町が 0.69%増、阿久比町が 1.39%増、東部知多構成市町全体で 0.46%増でありました。大府市については、家庭系のごみは 0.59%増で、直接持込ごみ（有料ごみ）、事業系ごみ 1.80%減となり全体で減少した結果となった。東浦町は家庭系ごみは 1.08%増、事業系 0.02%減という状況となっております。 推 進 員：増加した要因は何か。 環境課長：可燃ごみの全体排出量で 23 年度が 178.6 kg/人、24 年度が 180.5 kg/人であり、地域で収集する可燃ごみの量が増加したことが要因であります。 東浦町長：不燃ごみに関して平成 23 年度の石浜中が 10.8 kg/人、石浜西が 7.4 kg/人に対して、平成 24 年度の石浜中が 9.7 kg/人、石浜西が 9.4 kg/人となっているが、地域を越えた排出は考えられないでしょうか。 環境課長：平成 24 年度の石浜西地区については、県営住宅の引越しが重なっ
---------	--

たことが不燃ごみの増加につながった要因のひとつであると考えます。

議題 2 「段ボールコンポストモニター結果及び剪定枝粉碎機無料貸出について」

事務局：段ボールコンポストのモニター結果の報告と剪定枝粉碎機の無料貸出事業開始の報告

8/12～31 の期間で第 2 回のモニターを募集。

(主な質疑・意見等)

推進員：モニターとして取り組み、データを取ってみました。総重量は、段ボール、基材を含めて 2.4 kg、最終的に 8.8 kg、投入した生ごみの量 32 kg、よって 23 kg が減量できたことになります。

推進員：推計により減量できる量が報告されたが、次回は処理費がどのくらい減るかも報告していただきたい。

推進員：取り組むうちに出てくる問題も多々あった。マニュアルも難しいことを書かずに、簡単であるほうがよい。

事務局：マニュアルについては、アンケート結果を含め、ホームページに掲載していますので、ご意見をいただきたいと思います。

推進員：段ボールコンポストは、家庭の事情等で取り組めない方もいるため、生ごみの水分を切ってごみ袋に入れることを啓発していけば、減量できるのではないか。ごみステーションをみても、水分が溜まったごみ袋を見かける。啓発することで、意識のある方であれば生ごみは減量できると思います。

推進員：剪定枝粉碎機に投入する枝木は、乾かしてから投入するのか。竹はチップにできるか。

事務局：乾かさなくても大丈夫です。乾いた枝木ですと、種類によってはチップにできない場合もあります。竹については、粉碎すると故障の原因になってしまいます。

推進員：動力源は何か。

事務局：家庭用の電源を使用します。

推進員：現在は、貸出しという形をとっているが、剪定した枝木を住民がもっていき、剪定する方法は考えていないか。

環境課長：当初、コミュニティセンター等に設置し、住民の皆さんが剪定した枝木を持ってくる案も考えましたが、貸出している粉碎機は通常の持ち運びが容易である大きさのものを選定し、まずは貸出から始めました。今後は、反響をみながら貸出台数を増加させることも検討していきます。

推進員：チップ化したものを公共施設等に敷き詰めるなど、有効な使い道を設定してあげることも手段かと思います。

推 進 員：無料貸出について、車で貸出返却が必要になる。お年寄りにとっては苦となるため、そのような人への配慮も考えてください。

議題 3 「指定ごみ袋の他市町での販売について」

事 務 局：指定ごみ袋の他市町での販売について説明。

以前は、町内小売店に販売委託料を支払い販売していたが、昨年度から販売委託料を廃止した結果、懸念されていた町税の他市町流失がなくなったため、他市町小売店での販売を検討したい。

(主な質疑・意見等)

推 進 員：他市町の状況はどうか。

事 務 局：基本は、自市町での販売を基本としていますが、半田市、武豊町は、他市町での販売をしている。販売形態の違いによって、状況は様々です。

推 進 員：他市町から実際に販売の話があったのですか。

事 務 局：実際には、阿久比町の小売店からお話をいただいています。

推 進 員：買う側から言えば、ごみ袋は買い物ついでに購入するため、他市町でも購入できれば便利である。

推 進 員：今後は、販売する方向で動いているということで良いか。

事 務 局：環境課としては、販売していきたいと考えているが、推進員のご意見をいただきながら検討していきたいと考えています。

推 進 員：出す人のモラルの問題であり、他市町の方が町内で町指定ごみ袋を購入することは可能であり、不法投棄等の問題も心配することではなく、販売は問題ない。

議題 4 「パソコンの回収について」

事 務 局：現在の回収方法と施行された小型家電リサイクル法に伴うパソコンの取り扱いについて説明。

(主な質疑・意見等)

推 進 員：町としてはパソコンも小型家電回収の対象品目にしていきたいと考えてよいか。

環境課長：パソコンはレアメタル等貴重な資源になります。町としては、回収していきたいと考えますが、推進員のご意見を聞き、問題なければ、本年9月の自転車等の無料回収時から始めたいと考えています。

推 進 員：賛成ですが、メリットはわかるが、デメリットはあるのか。

環境課長：受け取ってそのままりサイクル業者へ引き渡すため、個人情報の漏洩の心配がある。

推 進 員：回収品目に入れた場合、個人情報の消去については周知するか。

事務局：広報、ホームページで排出者によるデータの消去を周知していきます。また、業者に直接引き渡しリサイクルされるため、漏洩の心配はほとんどないと考えています。

推進員：個人情報については、データの削除方法等について周知していけばよい。

推進員：個人の責任において廃棄するため、個人情報の消去等は個人責任でよい。大府市ではどのように注意しているか、どのような問題があるかなど、情報提供があると良い。

座長：議事の終了